

じどうとしょしつだより

れいわ ねん あきごう
令和4年 秋号

きょうとしちゆうおうとしょかん じどうとしょしつ
京都市中央図書館 児童図書室 (でんわ)802-3133

『じどうとしょしつだより』で紹介した本は、児童図書室内の
特別コーナーで展示しているの、気になる本があったらぜひ来てね♪



お知らせ



9月

9月1日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ ぴよぴよクラス

9月15日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ たんぽぽクラス

9月24日 (土) カンガルーポケットさんによる秋のおたのしみ会



10月



10月6日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ ぴよぴよクラス

10月20日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ たんぽぽクラス

10月22日 (土) おたのしみ会



絵本の読み聞かせや書庫ツアー

かしだしてつづ
貸出手続きなどにチャレンジ!

11月

11月3日 (木) やってみよう! 図書館のおしごと体験 (小学生対象)

11月5日 (土) 古典の日おたのしみ会

11月17日 (木) 赤ちゃん絵本の会 おひざにだっこ 合同クラス (0~2歳対象)

11月26日 (土) おたのしみ会



※赤ちゃん絵本の会は、おおむね1歳まで(ぴよぴよクラス)と、おおむね1歳以上(たんぽぽクラス)の赤ちゃんとその保護者が対象です。

※行事に参加するには、事前の申し込みが必要です。行事の内容など、詳しくは図書館のHPや館内のチラシ・ポスターなどを見てください。

※新型コロナウイルスの感染状況により、行事は急に変更、中止になる場合があります。



いろ 色とりどりのはっぱ



『葉っぱのフレディ』 レオ・バスカーリア^{さく} / 作 童話屋^{どうわや}

E
ハ

春^{はる}に生まれ、冬^{ふゆ}に枯れ落ち^{か おち}ていく葉っぱ^はの一生^{いっしょう}のおはなし。

何^{なに}のために生まれる^うのか、いのちとは？葉っぱのフレディ^はといっしょ^{いっしょ}に考^{かんが}えてみませんか。



『もみじのてがみ』 きくち ちき^{さく} / 作・絵 小峰書店^{こみねしよてん}

E
モ

ある日^ひ、つぐみがむこうの山^{やま}からまっ赤^かな「もみじのてがみ」を運^{はこ}んできました。こっちの山^{やま}にもあるのかな？どうぶつたちはもみじを探^{さが}しにでかけます。



『おちばひらひら』 ななお じゅん^{ぶん} / 文 偕成社^{かいせいしゃ}

471
ナ

さわがにのちよきたんは今日^{きょう}からひとり^{ひとり}でくらしていきます。

「もうすぐ あきがくるから きをつけなさいよ。」っておかあさんにいわれたけど、あきってなにかしら？



『はやしてひろったよ』 ひさかたチャイルド

653
ハ

はやしてひろえるいろいろなものを、ほんとうの大きさ^{おお}の写^{しゃ}真^{しん}でしようかいします。カラフルだったり、つやつやしていたり、きつとじっさいに探^{さが}しにいきたくなるはず！



『小さな山神スズナ姫』 やまがみ ひめ とみやす ようこ^{さく} / 作 偕成社^{かいせいしゃ}

913
ト

スズナ姫^{ひめ}は山神様^{やまがみさま}の娘^{むすめ}。スズナ山^{やま}を紅葉^{こうよう}させることができれば、独^{どくりつ}立^{りつ}してもよいとお父^{とう}さんにいわれ…。はたして、うまくいくのでしょうか。



『ひみつのやくそく』 ふるた たるひ^{さく} / 作 ポプラ社^{しや}

913
フ

しゃぼん玉^{だま}であそぶのが大好き^{だいすき}なひでやは、おにがすんでいたというもみじ山^{やま}に遠足^{えんそく}にいきますが、足を滑^{あし}らせてみんなとはぐれてしまいます。そこで出^で会^あったのは…？



あか えほん 赤ちゃん絵本



つき きせつ
お月さまがきれいな季節。

まえ つき
おやすみ前にお月さまのおはなしはいかがですか？



E
オ

『おつきさまのかぞえうた』
あらい ひろゆき さく えほんのもり
新井 洋行 / 作 えほんの杜

お月さまが歌うかぞえうた。ぶたさん、あひるさん、ひつじさん、夜になったらみんな寝よう！寝る前に読みたい1冊。



E
オ

『おつきさまのパンケーキ』
しんじゆ さく え ほるぷ出版
真珠 まりこ / 作・絵 ほるぷ出版
空に浮かんでいるお月さま。なんだかおいしそう！フライパンでおつきさまを焼いてみる？不思議でおいしいお話。



E
ダ

『だんごたべたいおつきさま』
すとう あさえ / ぶん ほるぷ出版
お月見の夜。縁側にはおいしそうなおだんごがあります。お月さまも食べたくなってしまって…。



E
ミ

『みんなおやすみ』
はせがわ さとみ / ぶん 学研プラス
夜、みんなが寝る時間になりました。お月さまがみんなに「おやすみ」のごあいさつ。



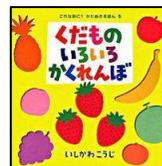
くだもの絵本



あき 秋はおいしいくだものがたくさん♪



『くだものぼくっ』
ひこさか ゆき さく
彦坂 有紀 / 作
こうだんしゃ 講談社



『くだものいろいろかくれんぼ』
いしかわ こうじ / 作・絵
ポプラ社



『くだものなんだ』
きうち かつ / さく・え
ふくいんかんしょてん 福音館書店





しよくぶつ ふしぎな植物「タヌキモ」



タヌキモは水の中に浮かんで成長する植物です。
 一見、ふつうの水草や藻のようですが、葉の根元に
 小さいふくろがついていて、そのふくろの上のほうに
 ヒゲが何本か出ています。そのヒゲを水の中にある
 ミジンコやボウフラ、プランクトンなどの小さな虫が
 さわってしまうと、ふくろに小さな虫を水といっしょに
 すいこみます。ふくろの中からは虫の体をとかす汁が
 しみだしてきて、虫の体をとかして栄養にして
 すいとってしまいます。

タヌキモを水から引き
 上げると、空気を吸って
 パチパチ音がするよ!



どうして「タヌキモ」っていうのかな？



タヌキモは冬がすぎてあたたかくなると、
 葉やくきをのばします。そのようすがタヌキのしっぽににているので、
 タヌキモという名前がついたそうです。夏になると黄色い花をさかせます。



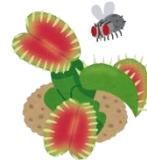
虫をすいこんだあと、うんちはするの？



タヌキ

動物ではないので、うんちはしません。

虫をすいこむことはできてはきだすことはできないのです。
 虫のからがたまると、透明だったふくろは黒色に変わります。



ハエトリグサ



ウツボカズラ

虫をつかまえて栄養にする植物は他にもある？

虫を食べる植物(食虫植物)は、水中にも陸上にもたくさんあります。

「タヌキモ」と名前のに似ている「ムジナモ」という植物もあります。

動物のタヌキのことをムジナと呼ぶ地方もありますが、まったく違う植物です。

アナグマのことをムジナ
 と呼ぶ地方もあるよ。
 ちょっとややこしいね

参考文献

『きみはタヌキモを知っているか』 かとし / 小峰書店

『食虫植物ふしぎ図鑑』 柴田千晶 / 監修 ワン・ステップ / 編集 PHP 研究所

『食虫植物の世界』 柴田千晶 / 著 田中桃三 / 著 誠文堂新光社



アナグマ